

予算	款	項	目	決算書
	-	-	-	480 頁

目 名
-

事業名称
公共下水道特別会計事業

1. 概要

目的	生活排水を適切に処理し、公共用水域の水質を保全するとともに、公衆衛生の向上を図る	対象	処理区域内の市民
事業概要	○公共下水道事業 ・大野町田中処理区域内の汚水処理 【処理人口】 364世帯 931人 【排水区域面積】 76.7ha 【年間処理水量】 104,490m³		

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	公共下水道事業	処理人口 931人 処理水量104,490m ³	償還金利子 及び割引料	99,146	93,706		17,600	1,457	74,649	3
計				99,146	93,706	0	17,600	1,457	74,649	

2. 指標設定

成果指標	指標名	汚水処理人口普及率	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	53%			総合計画/後期基本計画において、基本施策(3-1-2)の目標とされているため			
活動指標	指標	a	公共下水道	b		c		d
	数値	目標	1,198人	目標		目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
汚水処理人口普及率	%	48.1 %	53.2 %	54.9 %
		90.8 %	100.4 %	103.6 %

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 公共下水道	人	1,199 人 100.1 %	1,196 人 99.8 %	1,222 人 102.0 %
b		-	-	-
c		-	-	-
d		-	-	-

4. 課題と対応

課題
浄化槽の普及率は伸びているが、汚水処理人口普及率は、県下あるいは全国的に見ても下位に位置している。
対応（改善点等）
浄化槽の普及を促進するとともに、公共下水道への接続を促進する。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		93,849	91,761	93,706	91,371
財源内訳	国費				
	県費				
	市債	24,400	17,100	17,600	7,600
	その他	9,658	576	1,457	2,742
	一般財源	59,791	74,085	74,649	81,029
うち経常					
事業費に係る人件費		-	-	-	-
事業費に係る人役		-	-	-	-

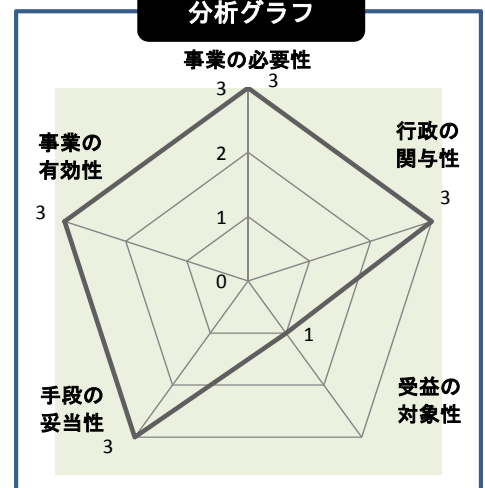
6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
起債の償還、施設の維持管理に一定の経費が必要となるため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 良質な水環境づくりのため、生活排水による公共用水域の負荷を低減させる必要がある。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により市が実施主体になることが定められている。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 処理区域内の住民を対象としている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 汚水処理人口普及率を向上させるために必要な事業である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 汚水処理人口普及率が伸びている。

分析グラフ



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、未収金の回収に努めるとともに、適切かつ効果的な事業実施を図ること。経営のあり方を検討すること。